



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月9日

上場会社名 中部水産株式会社
 コード番号 8145 URL <http://www.nagova-chusui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鈴木 祥司
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 052-683-3001

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,227	0.7	141	1.1	232	3.6	157	3.3
29年3月期第3四半期	32,015	△1.3	140	△29.9	224	△21.1	152	△13.5

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	88.41	—	—	—
29年3月期第3四半期	85.60	—	—	—

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
30年3月期第3四半期	16,753	12,876	12,876	76.9		
29年3月期	15,149	12,663	12,663	83.6		

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,876百万円 29年3月期 12,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
30年3月期	—	4.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円00銭となり、1株当たり年間配当金は8円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△0.7	140	39.4	250	15.9	160	11.3	89.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	1,926,900 株	29年3月期	1,926,900 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	146,017 株	29年3月期	145,517 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	1,781,028 株	29年3月期3Q	1,781,442 株

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当金及び業績予想について)

当社は、平成29年6月27日開催の第74回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株に1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成29年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当 1株当たり配当金 第2四半期末4円00銭(注1) 期末(予想)4円00銭(注2)

2. 平成30年3月期の通期の業績予想 1株当たり当期純利益 通期8円98銭

(注1)第2四半期末の配当は、株式併合前の株式数に対して支払われております。

(注2)株式併合考慮前に換算した配当額であります。

(注3)平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)予想は8円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和が続く中で、世界経済の拡大を背景に輸出が好調で企業収益の改善が進み、雇用、所得環境は緩やかな回復基調にあり、日経平均株価は2万円台を回復後、上昇傾向が続いております。しかし、依然として個人消費には停滞感があるなど、景況感は先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、天候不順による水産物の不安定な漁獲状況や水産物資源の減少、消費者の安全、節約志向や魚離れ等、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような外部環境のもとで、当社は、変化するマーケットや激化する販売競争に対応した集荷、営業活動を積極的に推し進めるとともに、業績の向上と経営体質の強化のための諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、卸売部門が販売単価の上昇により増収となり、不動産賃貸部門が順調な収入となるなど、全体で32,227百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。経常利益は、不採算部門の食品加工場の閉鎖に伴う損失額の減少、管理費の減少等により232百万円(前年同四半期比3.6%増)となり、四半期純利益は、157百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、「食品加工場部門」は前事業年度で廃止しております。

(卸売部門)

鮮魚は、天然ブリ、ハマチ、サワラが天候不順により入荷減となり、養殖ブリ、ヒラメ、タイが在池量の減少による浜値高で売上減となりましたが、マダコが順調に入荷し、本マグロ、キハダマグロの加工品が取扱増、年末用トロ商材が順調な販売となるなど、全体で増収となりました。

冷凍魚は、冷エビ、冷カラスガレイなどが高値により低調な荷動きで取扱減となりましたが、冷キンメダイ、冷タリイカが加工用中心に取扱増となり、生食用の冷アカエビが順調な販売で売上を伸ばし、全体で増収となりました。

加工食品は、煉製品関係が特売用の低価格商品の搬入減で振わず、アジ、キンメダイなどの開き物が原料不足により取扱減、秋サケ、時サケが不漁でイクラが高騰するなど、取扱減となりましたが、小女子などの取扱増により、全体では増収となりました。

売上高は30,755百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益は294百万円(前年同四半期比5.9%減)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料は、シラスウナギの順調な池入れにより国内向け飼料、輸出用飼料が販売数量が増加し、売上増となりましたが、水産向け魚粉が需要減により販売数量が減少し、全体で減収となりました。

この結果、売上高は906百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業利益は56百万円(前年同四半期比113.1%増)となりました。

(冷蔵工場部門)

給食関係の冷凍食品や冷アカエビの順調な入荷で取扱増となり、同業他社の再保管が増加しましたが、鮭鱒、サンマの取扱いが減少し、売上高は472百万円(前年同四半期比0.3%減)、営業利益は53百万円(前年同四半期比23.8%減)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は93百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益は49百万円(前年同四半期比6.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、16,753百万円となり、前事業年度末に比べ1,603百万円(10.6%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少639百万円などがありましたが、受取手形及び売掛金の増加1,694百万円、投資有価証券の増加560百万円などによるものであります。

負債は、3,876百万円となり、前事業年度末に比べ1,390百万円(55.9%)増加しました。これは主に、買掛金の増加1,285百万円、受託販売未払金の増加59百万円などによるものであります。

純資産は、12,876百万円となり、前事業年度末に比べ212百万円(1.7%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加199百万円、利益剰余金の増加14百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成29年5月12日発表の通期の業績予想は変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,379,070	1,739,277
受取手形及び売掛金	1,919,957	3,614,074
有価証券	2,901,146	2,801,934
商品及び製品	1,357,115	1,614,090
仕掛品	34,196	45,252
原材料及び貯蔵品	519,796	357,413
その他	50,652	25,256
貸倒引当金	△9,973	△21,770
流動資産合計	9,151,962	10,175,531
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	870,198	848,857
その他(純額)	731,036	765,401
有形固定資産合計	1,601,235	1,614,258
無形固定資産	12,090	19,807
投資その他の資産		
投資有価証券	4,098,016	4,658,877
その他	312,294	303,931
貸倒引当金	△25,889	△19,224
投資その他の資産合計	4,384,421	4,943,584
固定資産合計	5,997,747	6,577,650
資産合計	15,149,710	16,753,181
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,479,601	2,764,795
受託販売未払金	116,900	176,748
未払法人税等	27,993	15,627
賞与引当金	53,100	16,378
役員賞与引当金	5,840	—
その他	187,347	232,837
流動負債合計	1,870,783	3,206,388
固定負債		
退職給付引当金	417,880	389,162
その他	197,249	281,143
固定負債合計	615,130	670,305
負債合計	2,485,913	3,876,694

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,132,284	10,147,145
自己株式	△592,474	△593,780
株主資本合計	12,035,582	12,049,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	628,213	827,350
評価・換算差額等合計	628,213	827,350
純資産合計	12,663,796	12,876,487
負債純資産合計	15,149,710	16,753,181

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	32,015,930	32,227,937
売上原価	30,576,086	30,808,720
売上総利益	1,439,843	1,419,217
販売費及び一般管理費	1,299,710	1,277,611
営業利益	140,133	141,605
営業外収益		
受取利息	10,984	10,787
受取配当金	39,712	46,013
受取手数料	25,537	25,013
その他	9,094	12,109
営業外収益合計	85,329	93,924
営業外費用		
雑損失	996	2,996
営業外費用合計	996	2,996
経常利益	224,466	232,533
税引前四半期純利益	224,466	232,533
法人税、住民税及び事業税	49,841	44,568
法人税等調整額	22,135	30,508
法人税等合計	71,976	75,076
四半期純利益	152,489	157,456

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	30,105,175	944,984	408,741	474,193	82,835	32,015,930	—	32,015,930
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	75,069	—	34,459	93,040	—	202,569	△202,569	—
計	30,180,244	944,984	443,200	567,234	82,835	32,218,499	△202,569	32,015,930
セグメント利益 又は損失(△)	312,954	26,330	△21,292	70,831	46,895	435,719	△295,585	140,133

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△295,585千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
外部顧客への 売上高	30,755,876	906,333	472,712	93,015	32,227,937	—	32,227,937
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,903	—	91,206	—	118,110	△118,110	—
計	30,782,780	906,333	563,918	93,015	32,346,048	△118,110	32,227,937
セグメント利益	294,621	56,101	53,939	49,855	454,518	△312,912	141,605

(注) 1 セグメント利益の調整額△312,912千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

「食品加工場部門」につきましては、前事業年度末をもって事業を廃止したことに伴い、第1四半期会計期間より報告セグメントを記載しておりません。